



NPO日本朗読文化協会

# 朗読ニュース

2009年夏号



A-ステージ司会  
飯島 晶子



ご挨拶  
理事長 城所 ひとみ



B-ステージ司会  
阿部 眞希美



「朗読の日」公演会場内



C-ステージ司会  
岩瀬 弥永子



観客とともに声遊び  
児玉 朗



D-ステージ司会  
河崎 早希

## 理事さん監事さんご紹介



2月に副理事長の草苺様をご逝去され、事務局も全て新人事務員でスタートし、朗読の日、総会と怒涛のような忙しさと混乱の中で走ってきましたが、7月16日の理事会で新理事をお迎えし、気持ちも新たに活動を開始致します。

特に今回はビッグな理事様、監事様をお迎えできてほんとに嬉しいことです。伊井春樹様は大変素晴らしい国文学者でいらっしゃいます、加賀美様は誰でも知るNHKのキャスターであり、朗読者にとっては憧れの方です。又松野様は草苺様と永年のパートナーで、インターナショナル・カルチャー会長でいらっしゃいます。監事の伊澤様は皆様ご存知の八重洲ブックセンター元専務として八重洲朗読会を作り上げ、永年支えてくださった、社会的に大きく活躍されている方です。

以上の新理事様にお力添え頂けることは協会にとって素晴らしい、光栄なことだと存じます。私も新しいNPO日本朗読文化協会を理事、会員の皆様と一緒に前進させるべく一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

理事長 城所ひとみ

### 松野 正義 理事



NPO日本朗読文化協会副理事長草苺清子様がこの2月にご逝去されたため、同じインターナショナルカルチャー会長であられる、松野氏に理事就任をお願いしました。

永年草苺様とは同じ会社で社長・会長の関係でお仕事をされており、草苺様がNPO日本朗読文化協会に注がれた情熱をよくご存知でいらっしゃる方ですし、又NPO日本朗読文化協会の設立当時は、松野様も理事をされていた経緯がありましたので、草苺様のご遺志を継ぎ、理事を快くお引受下さいました。

### 伊澤 逸平 監事



私が勤務いたします八重洲ブックセンター本店の8階ギャラリーで「八重洲朗読会」を開催しております。初めて挑戦する“本屋さんでの朗読会”に不安もあったでしょうが、今では毎回盛況で100名を越えるお客様がお出でになるようになりました。会場をお貸ししている縁と実行委員の皆様の熱心な活動に引き込まれ、この度、監事の大役をお引き受けすることになりました。

仕事柄大量の本を読みますが、朗読いたしませんとまた別の世界が広がることを知りました。「最近面白い本を読みました？」を合言葉に、読書と朗読が表裏一体となって豊かな暮らしを作り上げることを念じております。伊澤 逸平

### 加賀美 幸子 理事

加賀美さんは、昭和38年NHKに入局され、「夜7時のテレビニュース」、「大河ドラマ」、「NHKアーカイブス」、「ラジオ深夜便」、「短歌・俳句スペシャル」、「古典講読」など様々な番組を担当されてこられました。平成9年には理事待遇エグゼクティブ・アナウンサー(女性初)となられ、平成12年NHKを定年退職されたあと、同年7月には千葉市女性センター初代館長に就任されました。



現在もアナウンサーとして「源氏物語千年紀撰」に続き、平成21年度は「枕草子」を担当されるなど巾広く活躍されています。朗読の世界でもさまざまなお仕事をなされ、特に古典朗読はライフワークとして取り組まれておられます。

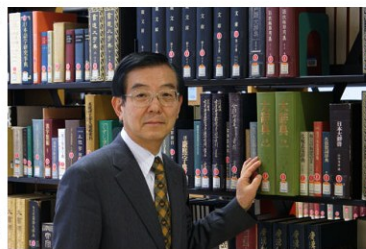
<個人受賞歴> NHK会長賞、ダイヤモンドレディー賞、前島(密)賞、徳川夢声市民賞など受賞。

<主な著書> 『こころを動かす言葉』(海竜社)、『生き方の鍵を見つける』(東京書籍)、『ことばの心に耳をすませば』(青春出版)、『読み聞かせる戦争』(光文社)、『源氏絵物語～原文朗読つき』(ソフトバンククリエイティブ)他著書多数。

千葉市女性センター名誉館長。日本文藝家協会会員、放送人の会幹事、多くの審議会委員など歴任。

### 伊井 春樹 理事

伊井春樹先生は、本年3月、国文学研究資料館館長を退任され、現在は、平安文学研究の第一人者としてさまざまな分野でご活躍されています。「源氏物語」や「枕草子」につ



いての著書やラジオ番組を通じて、広く日本文学の普及にご尽力される一方、長年にわたり、日本文学を海外に紹介する活動に積極的に関わり、外国の研究者と共に「国際化の中の日本文学研究」も強力に推進されています。

昭和16年、愛媛県生まれ。広島大学大学院博士課程修了。大阪大学名誉教授。国文学者。

<主な著書> 『世界が読み解く日本 ― 海外における日本文学の先駆者たち』(學燈社)、『源氏物語を読み解く100問』(NHK出版生活人新書)、『ゴードン・スミスが見た明治の日本―日露戦争と大和魂』(角川選書)、『一千年目の源氏物語』(思文閣出版)、『世界文学としての源氏物語―サイデンステッカー氏に訊く』(笠間書院)、『声に出して読みたい源氏物語』(監修、朗読加賀美幸子、ソフトバンククリエイティブ)他多数。

霧 笛 高橋俊三

還らざる者を呼ぶごとと霧笛哭く 俊忘

半世紀前、根室花咲港裏の丘で聞いた霧笛の音は、低く太く猛々しく、怨ずるがごとく喚ずるがごとく哭くがごとく、沖に向って鳴り渡っていききました。音という物体の震えが見えるほどの強いエネルギー。

それは逝ってしまった者を、呼び戻そうとする慟哭。「還ってこいよー」と絶叫する声でありました。

学生時代の男性仲間と北海道周遊旅行をしたときの感動体験です。

五年前の秋、妻に先立たれたとき、その霧笛の音を再び耳にしました。そして、心内の慟哭がこの揚句となりました。

実は、半世紀前の同時期、彼女もまた女性仲間と北海道を旅行していたのでありました。

私は、ここ数年、霧笛の慟哭を幾たびか聞いております。過日、初代理事長草苺清子氏を偲ぶ会の席でも、その絶叫を聞きました。

### 事業報告

#### 八重洲朗読会報告

4月、河崎早春、5月、飯島晶子と当協会の講師が出演し、観客の皆様にも楽しんでいただけたことと思います。

6月は博品館での「朗読の日」直後ということもあってか観客数が落ちて心配しましたが、7月に当協会の有賀康子理事と新人3名の出演で、観客数も元に戻り、90名以上の入場者がありました。新人といっても八重洲朗読会は初出演というだけで他では活躍している方々でしたから、とても聴き応えのある素晴らしい朗読会で観客の評判も上々でした。

今後ますます聴く人に感動を与える朗読会にしていきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願い致します。 宮崎弥生



#### 「かもめ」報告

現在、「かもめ」は毎月、児童館、高齢者施設（5ヶ所）に各2～3人で訪問しています。登録しているメンバーは40名。この他の活動は毎月の定例会、年に一度の朗読会、その他協会の行事のお手伝いもしています。



定例会では各訪問先のボランティア報告、そしてその都度解決しなくてはいけない事柄を話し合い、その後、勉強会をしています。「かもめ」が誕生して6年が経っているので、個人で蓄積している体験を発表し、皆で分かち合っています。また、専門知識を持っている会員に講義してもらうなど、皆の技術向上を図っています。高齢者施設ではただ朗読をするというより、皆さんが参加できる形を取った方が喜ばれます。歌を歌う、身体を動かす、朗読を一緒にやるということで参加者が笑顔になってくださるのが我々にとって何よりの喜びとなります。

毎月の訪問日誌を読むと、各々知恵を絞った工夫のあとが見られます。1年間の勉強会の成果が少しずつ出てきているのではないのでしょうか。

今年度の「かもめ朗読会」（22年3月予定）は、ボラ



ンティアグループらしい朗読会にしたいと実行委員会を立ち上げ皆で話し合っているところです。また、秋には高齢者施設と世田谷区の施設から2時間の「朗読会」の依頼があり、それに向けての練習も始めているところです。朗読ボランティアに興味ある方と一緒にいかがですか。 稲本由美子



お台場高齢者在宅サービスセンター



## 総会報告

### 平成21年度通常総会議事録

日時：平成21（2009）年6月29日（月）午後2時～

場所：港区赤坂区民センター第一会議室 港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぶらざ内

議長：城所ひとみ

議事録署名人：阿部義高氏、安田綾子氏

総会に先立ち、有賀康子理事より、本日総会に出席された方々にご挨拶後、総会開会の宣言がなされた。引き続き、城所理事長より、先に開催された「朗読の日」公演が、昨年度を上回る入場者数を記録し、成功裏に終了した旨報告され、関係者並びに会員のご尽力に対して感謝の意が表された。

議題：

#### 第1号議案 議長選出の件

互選により城所ひとみ氏が議長に選出された。引き続き、議長より、本日の総会出席者数は、正会員数149名 出席者数104名（内当日出席者25名、委任状79名）により、総会は定数を満たしたので有効に成立した旨報告された。

#### 第2号議案 議事録署名人選出の件

議事録署名人として阿部義孝氏および安田綾子氏が選出された。

#### 第3号議案 定款変更の件（総会資料1参照）

議長より、主務官庁の指摘を鑑み、定款第一章総則の「第二条（事務所）本会は、事務所を東京都港区に置く」を「第二条（事務所）本会は、事務所を東京都港区赤坂3丁目8番8号 赤坂フローラルプラザビル3Fに置く。」に変更したい旨提案され、全会一致で承認可決された。

引き続き、新たに3名の方を理事として迎えたく、定款の役員数の変更が必要である旨説明され、定款「第三章 役員 第十一条（役員の種類および定数）本会に、次の役員を置く。理事 3人以上6人以内 監事 1人以上3人以内」を「第十一条（役員の種類および定数）本会に、次の役員を置く。理事3人以上12人以内 監事 1人以上3人以内」に変更したい旨提案され、全会一致で承認可決された。

#### 第4号議案 理事辞任並びに新理事選任の件（総会資料2参照）

児玉朗理事より、一身上の都合により理事辞任の申し出があり、5月の理事会において受諾され、また新たに、伊井春樹氏、加賀美幸子氏、松野正義氏を理事として迎えたい旨提案され、全会一致で承認可決された。

#### 第5号議案 監事辞任並びに新監事選任の件（総会資料2参照）

監事西一彦氏より、一身上の都合により監事辞任の申し出があり、5月の理事会において受諾され、また新たに、伊澤逸平氏を監事として迎えたい旨提案され、全会一致で承認可決された。

#### 第6号議案 平成20（2008）年度事業報告書並びに収支決算書承認の件（総会資料3参照）

土井理事より配布済み資料をもとに平成20年度収支決算報告がなされ、引き続き、西監事より、「私は、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第8回会計年度における会計監査を行い、次のとおり報告いたします。1. 監査の方法の概要会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて財務諸表及び収支計算書の正当性を検討致しました。2. 監査の結果、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに収支計算書は、会計帳簿の記載と一致し、日本朗読文化協会の財政状態、正味財産増減及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。」と述べられた。その後、収支決算内容について活発な質疑応答が行われた後、賛成多数で承認可決された。

事業報告に関しては、各担当者、飯島晶子氏、宮内佳代子氏、坂本有子氏、安田綾子氏より配布済み資料に基づき報告がなされ、全会一致で承認可決された。

#### 第7号議案 平成21（2009）年度事業計画案並びに収支予算案承認の件（総会資料4参照）

坂本有子氏より、平成21（2009）年度事業計画案について説明され、引き続き事務局より収支予算案について、前年度並みの規模で予算が提示されているが、予算案作成上の不確定要素を極力排除するためには事業全体を把握できる事務局体制が必要不可欠である旨述べられた。平成21（2009）年度事業計画案並びに収支予算案は、全会一致で承認可決された。

議長より、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べられ閉会した。

上記のとおり通常総会の議事に相違無いことを証するため、ここに議長及び議事録署名人が記名・捺印する。

平成21年6月29日

議長	城所ひとみ	印
議事録署	阿部義高	印
議事録署名人	安田綾子	印

## 朗読情報コーナー — 地方からの発信 —

### 四国での朗読活動

地方との格差は朗読でも感じています。徳島には朗読サークルは多くあり、それぞれが自分達だけ内々の発表会で満足している様子がみられます。まとまって皆で何かを



ということはまず無理です。

私は、瀬戸内寂聴さんが名誉会長の協会ということから始まった東京への朗読遊行ですが、指導力ある講師の方々や志のある方達と出逢うことができて本当によかったと思います。刺激を受け、歌舞伎の演目と人形浄瑠璃と朗読を合体させた傾く（かぶく）朗読・瀬戸内寂聴創作「モラエス恋遍路」。等身大のモラエス他人形を私達15人の会員が割り、野外公園で行われる小屋掛け公演で浄瑠璃朗読へのチャレンジや、四国放送ラジオの私の番組では童謡唱歌・阿波の民話を朗読し言葉の大切さを発信しています。

「朗読の日」公演は、徳島新聞東京支社の取材を受け掲載されました。地方へNPO日本朗読文化協会の活動を発信し、格差を少しでも縮めることでできればと思います。岩瀬弥永子

「いのちの初夜の一場面」と話した。

◎：北條民雄の小説が出演した。

島市北出来島町、写真Ⅱ

師の岩瀬弥永子さんⅡ徳らうとともに、不治の病とされた当時のハンセン病患者の思いを少しでも感じてほしかった。

◎：東京・銀座の博品館劇場で20日、声を震わせながら、作品に込められた絶望感や望郷の思いを表現した。

◎：6年連続の出演と

尾燈

銀座の博品館劇場で20日、声を震わせながら、作品に込められた絶望感や望郷の思いを表現した。

◎：6年連続の出演と

を15分間朗読した。ハンセン病と隔離生活で余儀なくされた北條

### 「朗読教室」2009年10月新講座開講!

別紙「朗読教室ごあんない」をご覧ください。

#### 第4回「朗読コンクール」

2010年 1月30日(土)・31日(日)

場所：赤坂区民センターホール

参加費：一般の部（有料）学生の部（参加費無料）

主催：NPO日本朗読文化協会 共催：港区教育委員会（予定）

後援：港区（財）kissポート財団、博品館、キングレコード、八重洲ブックセンター（予定）

#### 第2回「朗読アラカルト」

2009年 12月19日(土)

場所：赤坂区民センターホール 主催：NPO日本朗読文化協会

#### 第8回「朗読の日」公演

2010年 6月19日(土)・20日(日)

場所：博品館劇場 主催：NPO日本朗読文化協会

## 第7回「朗読の日」公演報告

当協会恒例の銀座博品館劇場に於ける「朗読の日」公演は6月20日（土）昼・夜、21日（日）昼・夜の4公演を盛況のうちに終えることができました。総出演者数は59名。46作品と「60歳のラブレター」。入場者数も5公演だった昨年より多く1216名でした。準備のスタートの遅れに加え、草苺副理事長の訃報など思わぬ事態が相次いだ中での成功は、出演者一同心を一つにして頑張った成果だと思えます。結束力と充実感を感じました。今年で2回目の演出家飯田氏・舞台関係スタッフの方々ともより良い関係が保てたと思えます。 坂本有子

【遠方よりお出かけ下さったお客様の一言】

☆これまで「間」が大切とばかり思っていました。独りよがりだったと痛感。カツゼツをしっかりと文章をよく読めば、長い作品も短縮して読むことができる、等いろいろな点でたいへん勉強になりました。三浦美喜様 秋田県大仙市大曲在住



開演前のロビー

☆年に一度の何よりの楽しみで、素晴らしい休日でした。昨年一昨年も3日間あった公演が2日だったのは残念でした。来年も楽しみにしています。K.E.様 新潟在住



### ← Aステージ司会者 「朗読の日」公演7回目を を終えて・・・

3時間全てを見てくださったお客様も多く、全体的にとっても楽しめたという声を頂戴しています。また7年前から毎回来てくださっているお客様からも「だんだん良くなるね」と・・・（嬉しい限りですね、草苺さん！）これは一人一人を大切にしてくださいる演出とスタッフのみなさま、また出演しながら、会の運営、プログラムの作成、広告にいたるまで、その惜しめない会員の力あってのことと思えます。そして、初出場の方の新鮮さや、実直さもよい雰囲気、拍車をかけているのではないのでしょうか。これからも大いに門戸を開き、出演したくなる舞台、また一般の方々にとっても足を運びたい朗読の舞台とは何かを、改めて考えていきたいものです。 飯島晶子



開演前の会場



### ← Cステージ司会者

岩瀬弥永子氏  
岩瀬さんには「地方からの情報コーナー」でご寄稿いただいております。  
→ 8頁

### 北海道から博品館の舞台へ



「今年もこの場に立てた」という充実感を味わうことができました。私が住む北海道では、なかなか経験できない素晴らしい演出・音響・照明等、プロの方々にはバックアップしていただきながら、博品館という舞台での朗読体験！！

毎年博品館の準備は、ホテルと航空券を予約することから始まります。六月はジューンプライドの時期で、ホテルはすぐ満室になる季節です。そして、何を讀もうかしらと悩みますが、今年は迷わず「秘花」に決めました。佐渡に流された世阿弥を愛した架空の女性「さえ」の心情を朗読しようと。時代を超えた芸術を完成した世阿弥を羨望と愛情をこめて描く寂聴先生の向こう側に、日本文学最高峰の「源氏物語」を愛し、それを朗読することに愛情を注がれた草苺清子先生の姿を重ねながら。 宮下郁子

### 個性的な朗読舞台の創造

簡潔な装置、効果的な照明、意欲的な飯田演出に支えられて、約59名が参加した第7回



朗読の日も、各々が持つ課題を乗り越えて個性的な朗読舞台を創り上げた。裏方・ロビーのボランティアも手慣れた動きで頑張っている様子はとても頼もしかった。

今回の入場者数は、1公演少なかつたにも拘らず昨年を上回り、また事務局への公演問い合わせ・HPへのアクセスが一気に増えたことを聞き、世の朗読好きの人達から我が協会の「朗読の日」公演が注目され始めた所以ではないかと嬉しく感じた。

私も8回目の出場を目指し練習を重ね、また来年に臨みたいと考えている。成功裏に終えることのできた感謝の念を、2月に急逝された博品館公演の創始者草苺清子さんに捧げたい。松島邦



### ← Bステージ司会者 貴重な記念日

細やかな演出のもと、美しい舞台のひとつの場面に立てるといのは、何より嬉しく幸せなことでした。今回は、『源氏物語』の朗読の他、60才のラブレターにも参加し、司会までさせていただきました。4ステージのうち、3ステージに関わり、寄る年波でかなり疲れましたが、でも心地よい疲労です。

会員の皆様と交流でき、情報交換の場として年に一度の「朗読の日」は、私にとって貴重な記念日です。地方というハンディを乗り越えて、また未来を目指します。 安倍眞壽美



出演者全員が自らも裏方支援をすることが恒例となっています。



ポスター・チラシ・プログラムデザイン：浅野みどり

## 第7回「朗読の日」公演出演者記念写真



6月20日(土) 昼の部 - A -



6月20日(土) 夜の部 - B -

出演された皆様、そして裏方、スタッフ、又公演を見に来ていただいたお客様・・・皆の力で「第7回 朗読の日」が無事終了！感謝しています。

朗読する人は心地よく、又聞きに来られた方は楽しく・・・来年も又来たい！と言ってもらえる、そんなステージが作れたらと心掛けてきました。

ステージ上手・下手に吊った幕（我々スタッフは「タタミワシ」と呼んでいました）への照明も美しかったとの声もいただき、嬉しく思っています。

今年は色々と省エネ対策でステージの数も減り、舞台稽古の時間なども少なく、皆様をしっかりとフォローできず申し訳なく思っています。

また来年も“声を通した音空間”を大切に、素敵な舞台が作られればと思っています。

今後ともよろしくお願いします！ 飯田輝雄



### ← Dステージ司会者 背中にて呼びかけながら

袖にいと、出番を控えた出演者の緊張感が伝わってくる。マイクに向かってコメントしながら、（ああ、深呼吸して落ち着かせようとしているのね…。いつも通りにできるといいね。）などと、背中に心で呼びかける。

昔、NHKの新しいバラエティ番組がスタートするとき、その場に居合わせたことがあった。司会はタイトルにもその名が入っている程の超有名タレント。時間通りに進行する生番組と同じ作りだったため、まさに本番前には生の緊張感があった。ベテランのその司会者は、秒読みが始まるその時まで、冒頭でしゃべるセリフを何度も何度も口の中でつぶやき、握った手を貧乏揺すりのように震わせていた。

緊張は、場慣れしていない人はもちろんだが、どんなベテランにも同じように襲ってくる。リラックスしてその人の一番いい持ち味を出せるように、あたたかい客席の空気を出せたらいいなあと思いつつ、マイクに向かった。  
河崎早春



6月21日(日) 昼の部 - C -



6月21日(日) 夜の部 - D -

公演終了後、出演者、関係スタッフが集まって、打上げの会が博品館劇場ロビーで開かれました。高橋俊三先生の乾杯の音頭のあと、和やかな歓談が続き、2日間に渡る公演は無事終了いたしました。



出演者、関係者のご苦労をねぎらう  
城所ひとみ理事長



演出家飯田輝雄氏のご挨拶に  
直立不動の姿勢で神妙に聞き入る出演者一同



乾杯！

「朗読の日」公演反省会が、2009年7月9日（木）開かれました。

出席者19名 場所：月の市場 月世界ビル7F

事前に配布された「朗読の日」公演アンケートの結果 — 厳しい意見・要望・反省 — を一つ一つ読み上げながら、来年の「朗読の日」公演に活かすことが確認されました。その後、食事をしながらの歓談が続きました。

## 新事務局長ご紹介

9月以降の事務局長が決定しました。田村誠一様（68歳）です。城所ひとみと、伊澤氏と共通の20年来の友人ですので、そのお人柄、能力は二人で保証できます。田村氏は鹿島建設、都市環境エンジニアリング社長、現顧問（非常勤）で財務、人事、総務、営業など広い分野で活躍し、又個人的には江戸文化研究など文化的な趣味を極めていらっしゃる方です。

7月23日二人で心をこめてお願いしたところご快諾をいただきました。特に伊澤氏とは同じ鹿島建設と一緒に働いてきた仲ですので、今後も監事伊澤氏との連携が出来るのも大変NPO日本朗読文化協会にとっては素晴らしいことになると思います。私も田村氏はNPO日本朗読文化協会が事務局長としてお迎えできる最高の、最適の方であると自信を持って推薦できます。 城所ひとみ

## ご寄付

岡田雅之様（新潮社）、清田成子様（着付師）に「朗読の日」公演会場においてご寄付いただきました。

## 訃報

会員の余語久子様が6月28日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 会員情報

◆2009年4月・5月・6月・7月に入会された方々は以下の通りです。伊井春樹、飯野堯子、伊澤逸平、岡田豊子、尾崎とき子、加賀美幸子、小泉幸子、須賀育子、須藤仁美、土屋久美子、三井浩佳、松野正義、吉田周子（敬称略・50音順）

◆まだ会員継続手続きがお済みでない方は、至急ご手配くださいますようお願い申し上げます。

## ☆編集後記

◆7回目を迎えた協会三大大行事の一つ博品館の『朗読の日』は全ステージほぼ満席という夢のような結果でした。かかわった全ての方の「頑張り」のご褒美。協会は進化の真っ最中です。

◆ホームページのアクセス数が10,000を超えました。本年4月中旬では、アクセス数が6,200でしたので、3ヶ月間で倍以上になったこととなります。なお、その後も順調に伸び、8月9日現在13,000を超えております。まだの方は、是非一度ご覧ください。これからも、最新の情報を幅広く提供してまいりたいと思います。皆様のご意見ご要望をお寄せいただければ幸いです。

◆お忙しい中、ご寄稿くださいました皆様に心より御礼申し上げます。今号から「朗読情報コーナー - 地方からの発信 -」を設けました。さまざまな地域で活動されている会員の方々からの情報をお待ちしております。 広報委員長 早川とし子

## 新入会員ご紹介

今回は、3名の方々から「一言メッセージ」をいただきました。ご協力ありがとうございます。

2003年10月に入会致し、2005年「第3回朗読の日」に出演。その年、心筋梗塞になり退会。今般、「樋口一葉勉強会」を受講するにあたって再入会致しました。病気の早い回復も朗読あつてのことと朗読に感謝です。朗読で少しでも人のお役に立ちたいと励んで居ります。 飯野堯子

読み聞かせが上手になりたいと思いカルチャーセンターの講座に参加しました。毎回「言葉を表現する」難しさを感じながら『楽しく朗読する』喜びも実感しました。退職した今、再び朗読の世界を広げたいと思っています。 土屋久美子

子供たちが成長し、少しずつ自分の時間が持てるようになりました。義母の介護がありますが、心のゆとりが持てるようにと思っています。 三井浩佳

## お便りご紹介

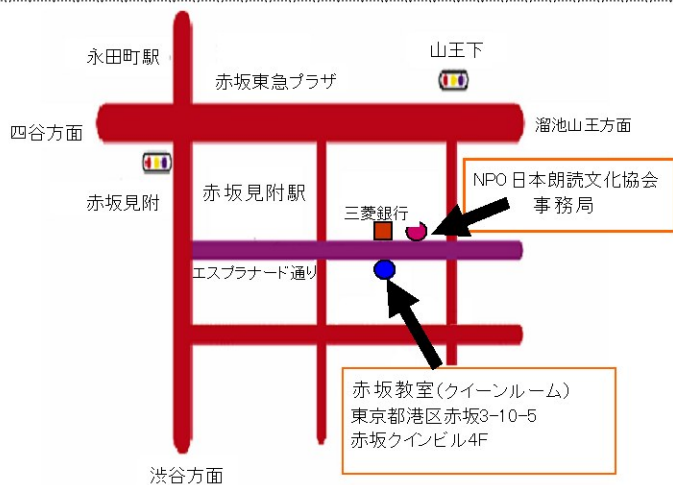
「朗読の日」公演にお越しくださいました帷子美幸様から大変ありがたいお手紙をいただきました。紙面の都合で全文はご紹介できませんが、帷子様のご了承のもとに、ここにご紹介させていただくことになりました。

日本朗読文化協会の皆様へ

6月20日博品館へ行きまして昼の部を楽しませていただきました。耳に心地よい響きで始まり朝顔、羅生門、時の小鳥・・・と物語に引き込まれてゆきました。中略・・・

司会者の方が客席に向けて「来年この舞台にたつのは、あなたかもしれません」と言われていました。会場にいた一人一人が自分に何かポジティブな力が動いたことを感じたにちがいありません。

本当に心から楽しめた朗読をこれからも続けていかれることを心から願っています。一人一人が払われた努力やご苦労はとも計り知れませんが、朗読のすばらしさを味わえたことを心から感謝しています。ありがとうございました。 帷子美幸



朗読ニュース2009年夏号 発行日 2009年8月10日

発行 NPO日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ

〒107-0052 東京都港区赤坂3-8-8 赤坂フローラルプラザビル3F

TEL:03-3584-4451 FAX:03-3584-4452

E-mail:inpo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

# 瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」

心と心が響きあう朗読の魅力

瀬戸内寂聴訳

## 声にして 楽しむ 源氏物語

好評発売中

KICG-5068~69  
CD2枚組  
定価3,000円(税込)



◆朗読・NPO日本朗読文化協会会員  
宮崎弥生・秋山雅子・岩瀬弥永子  
福田雅世・飯島晶子・安倍真壽美  
坂本有子・加藤敬子・松島 邦

- |      |           |
|------|-----------|
| ① 桐壺 | ① 末摘花     |
| ② 藤壺 | ② 朧月夜     |
| ③ 空蟬 | ③ 六条の御息所  |
| ④ 夕顔 | ④ 明石      |
| ⑤ 若紫 | ⑤ 源氏物語の魅力 |
- (お題 瀬戸内寂聴)

千年前の王朝の世界へ誘います

瀬戸内寂聴訳

## 源氏物語

〈語りと筑前琵琶〉  
上原まり

好評発売中

CD全6タイトル  
定価・各2,000円(税込)



- ◆空蟬・夕顔  
■KICG-5070
- ◆明石・松風・薄雲  
■KICG-5071
- ◆若紫(上・下)  
■KICG-5072
- ◆紅葉賀・花宴  
■KICG-5073
- ◆葵(上・下)  
■KICG-5074
- ◆玉鬘(上・下)  
■KICG-5075



【第42回】日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

## 昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。  
全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル  
好評発売中  
各定価¥2,000(税込)

「温かく、優しく迎えてくれる  
「ふるさと」がいっぱいあります。」



(CD全47タイトル) ■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵:鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を  
現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、  
大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。  
かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて  
来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化遺産とな  
っています。  
このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によ  
って地元の言葉で現地収録しました。  
大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれ  
ていきますことを、心から願っています。

美しい  
日本語

美しいことばと豊かな心

全65タイトル好評発売中!

Roudoku Series  
朗読CDシリーズ心の本棚

【第一弾】 [第二弾]  
CD全15タイトル 各¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第三弾】日本の詩歌  
CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第四弾】名作を聴く  
CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)

【第五弾】日本人のこころと品格  
CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店で求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。 ●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)  
FAX 03-3945-9086 ハガキ 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内 キングダイレクトアクセス行

KING RECORDS  
\*キングレコードの情報は  
<http://www.kingrecords.co.jp>

h!smaTV